

平成25年度肉用牛放牧指導者研修会開催要領

1 目的

放牧は、飼料費低減や飼養管理、飼料生産作業の省力化による生産コストの低減をはじめ、耕作放棄地等の活用や鳥獣害の防止及び景観保全等多面的効果を発揮することから、簡易で低コストの電気牧柵の開発と相まって、肉用牛を中心に拡大している。

また、配合飼料の原料であるとうもろこしや輸入粗飼料は新興国での需要増加、主産地における天候不順による産地価格の高騰や為替レートが円安傾向に転じたことから上昇傾向にあり、今後とも肉用牛生産を継続していくためには、地域草資源の有効活用による低コスト生産が可能な放牧を今まで以上に推進する必要がある。

さらに、農業者の高齢化に伴い耕作放棄地が増加しているが、これらを防止するためには肉用牛による耕作放棄地への放牧が有効である。

しかしながら、地域によっては放牧の専門指導者の不足等により十分な推進が図られていない現状にある。

そこで、地域における更なる放牧の推進を図るため、放牧等を推進しようとする者を対象に、電気牧柵の設置等の実技を中心に放牧の基本技術等に係る研修を行い、肉用牛の放牧に係る指導者を養成する。

2 日時 平成25年11月12日(火) 9:00~13日(水) 15:20

3 場所

(1) 11月12日

「愛媛県西予市野村町林業センター」

〒797-1212 愛媛県西予市野村町野村 12-619

TEL 0894-72-1115

(2) 11月13日

「平井正人牧場」

〒797-1327 愛媛県西予市野村町栗の木 200-2

TEL 0894-72-0134

4 内容

(1) 1日目【9:00~17:30】

①「開会式」 15分(9:00~9:15)

②「和牛放牧技術のステップアップ」

(一社)日本草地畜産種子協会 放牧アドバイザー

落合 一彦 氏

60分(9:15~10:15)

— 休憩 —

15分(10:15~10:30)

③「GPSを活用した牧柵施設の設置(測量、図面作成等)について」

サージミヤワキ株式会社

菊池 恭則 氏

260分(10:30~15:50)

④「牧柵・施設の展示説明と実技実習」 90分（16:00～17:30）

(2) 2日目【9:00～15:20】

①「高張力線牧柵及び簡易電気牧柵の設置」 300分（9:00～15:00）

②「閉会式」 20分（15:00～15:20）

5 主催等

主催 一般社団法人日本草地畜産種子協会

後援 愛媛県（申請中）

6 参集範囲

放牧の現地指導に当たる農協、市町村、都道府県農業改良普及センター、草地・畜産担当者及び公共牧場担当者等

7 申込み方法

別添の「申込書（11月5日締切）」による。なお、会場の収容人数の都合で人数を制限する場合があります。

8 その他

- ・実技実習は雨天決行。
- ・実技実習及び防疫のため雨合羽、革製の手袋、洗濯後未使用の作業服及び長靴を持参のこと。